



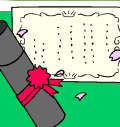
平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.41 —

平成31年3月20日発行

全県で最も「ありがとう」の気持ちが飛び交う卒業式が行われました
きらり学年,白岩小を巣立ち新たなステージへ



3月15日(金),心配していた天候も回復し,晴天の下「平成30年度卒業式」が行われました。卒業生の返事や態度,卒業生と在校生による「巣立ちの言葉 明日への希望」の歌と呼びかけなど,出席して下さった方々に感動を与えるものでした。呼びかけで間違ってしまったとき,笑顔でやり直し見事成功させた様子が何よりも嬉しかったです。人数は少なくとも,全県で一番「ありがとう」の気持ちが飛び交った卒業式だったと自負しております。ご臨席下さったご来賓の皆様,保護者の皆様に改めて御礼申し上げます。



門送いは エールの交換で!



卒業式後は,学校の玄関先で,在校生,教員に保護者の方々も交えて,卒業生を見送りました。在校生からのプレゼントを贈った後,在校生からは「フー!フー!キラリ」のエールが,卒業生からは,お返しに「フー!フー!白岩」のエールがそれぞれ送られました。

和やかな雰囲気の中,きらり学年19名は笑顔で本校を巣立ちました。

卒業生のさらなる活躍を心から願っています。

「おめでとう!きらり学年

頑張れ!きらり学年」



平成30年度卒業式 校長式辞

暖かな日差しとやわらかな雨が、平成最後の雪をとかし、新しい時代の春を迎えようとしていきます。本日は、仙北市副市長倉橋典夫様を保護者の皆様のご臨席を賜り、平成30年度卒業式を挙げてまいります。

きり学年19名のみなさん、ご卒業おめでとうございませぬ。卒業証書を手には、凛とした姿で座っているみなさん。私は「おめでとう」という気持ち以上に、「ありがとう」という気持ちが上がってまいります。

昨年4月、初めて小学校に勤めることになった私が、最初に全校の前であいさつをしたとき、一番真剣な目でみつめ、うなづきながら話を聞いてくれたのは、あなたたち6年生でした。それまでの不安な気持ちから、「この子たちがよりよい上級生ならやってくれる」という気持ちになれたこと、今でも忘れません。本当にありがとう。

あれから一年、あのときの気持ちに間違いはありませぬ。児童会の委員会活動、オールスマイルグループでの縦割り活動、運動会や灯火祭などの行事、常にみなさんは学校のリーダーとして活躍しました。普段の生活でも、登校するときや休み時間など、安全に楽しく過ごせるよう下級生に気をくばり、一緒に活動してくれました。本当にありがとう。

学校の中の活動だけではありませぬ。18年ぶりに地区の大会で優勝し全県出場を果たした、野球部のK.Kさん、K.Tさん、S.Rさん、T.Sさん、T.Yさん、T.Kさん、T.Sさん

同じく、31年ぶりの地区優勝、全県で活躍した、バスケットボール部のK.Kさん、K.Kさん、S.Sさん、S.Mさん、T.Sさん、F.Rさん、H.Fさん

素敵な演奏で、仙北市ボランティア祭りのオープニングを飾ってくれた、器楽部のS.Yさん、S.Rさん

地区の社会科研究発表会で、最高賞である「優秀賞」を獲得したS.Yさん、S.Hさん、W.Mさん。あなたたち19名はそれぞれの持ち味を發揮しながら学校外でも活躍し、地域や学校に活気と元気を与えてくれました。本当にありがとう。

つらかったこと、くじけそうになったこともあったでしょう。そこから逃げず、乗り越え、今日ここに堂々とした姿で卒業式に臨んでいるみなさんを誇りに思います。

さあ、もうすぐ「19人の冒険者たち 第2章 角館中学校編」がスタートします。新しい仲間を加え、中学生として歩み始めるみなさんに心の片隅にとどめておいてほしいことが二つあります。

一つは、学校は知識を教わる場所ではないということ。学校は知識を身に付ける方法、目の前にある問題を解決する方法を身に付ける場所。言い換えれば、学校は勉強のやり方を教わる場所です。

本当の勉強というのは、すべての学校を卒業し、世の中に出てから始まります。特に、みなさんが大人になるころは、今ある知識だけでは解決できない問題や課題が、たくさんある世の中になっています。

そのような世の中であらうと、自分らしく生きていくためには、勉強し続ける力、自分で新しい知識を得て、初めての問題や課題も解決できる力が必要です。学校にいるうちにその方法を身に付けてください。そのためには、授業や部活動、生徒会活動に、目的と理想をもってチャレンジしてください。

二つめは、学校にいるうちに、周りの人に協力できる人、協力してもらえる人になるということ。

世の中には、一人では解決できず、周りの人の協力を必要とする問題がたくさんあるからです。そのためには、周りの人のよいところを見つけて目、周りの人に感謝する心、感謝の気持ちを相手に伝える口を大切に学校生活を送ってください。

まずは、今日、晴れて卒業式を迎えられたことに感謝しましょう。

あなたたちが喜ばば、まるで自分のことのように喜んでくれた家族、苦しんでいる場面で一緒に心を痛めてくれた家族、いつも一番の味方になってくれた家族に感謝しましょう。

あなたたちの成長を常に温かい目でみつめ、惜しまず協力してくれた、地域の方々にも感謝しましょう。

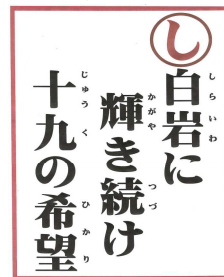
初めて家族から離れ、集団で生活するようになったころ。お世話してくれた保育園、幼稚園の先生方に感謝しましょう。

小学校でみなさんの担任だったTE先生、S.R先生、T.Y先生、先生方に感謝しましょう。中でも、子どもからちょっと大人になり、悩みも多くなった最後の大切な2年間、みなさんを導いてくれた優子先生にとって、みなさんが担任する最後の卒業生であることを忘れないでください。

多くの方々への感謝の気持ちを、このあとの「巣立ちの言葉 明日への希望」の歌と呼びかけで、思う存分、堂々と表現してください。

みなさんが小学校に入学した平成25年は、修学旅行で一緒に観戦した楽天イーグルスが日本一になった年です。東日本大震災から2年、被災地に明るく希望を見せてくれた年です。

その年に入学し、今、国と仙北市の旗の前に座っているみなさんは、未来の明るい希望です。「きり学年」の名にふさわしく、明るい希望として、おひさまのように光続けてくれることを期待しています。



白岩郷土カルタに新しく加えたい一枚を紹介し、式辞といたします。